2
February 2013
第706号
平成25年2月1日発行
(毎月1日発行)

[広報] さめがわ

Public Relations SAMEGAWA



[特集]

二十歳(はたち)の思い描く未来

晴れやかな表情の新成人

特集

二十歳の思い描く未来



1成人を祝う太鼓が披露された／2久しぶりに再会した友人と記念撮影



１月13日、村公民館には、
色とりどりの振袖や真新しいスーツに
身を包んだ新成人の姿がありました。
子どもから大人へ――。
そんな節目の日を迎え、何を思い
どのような未来を見つめているのでしょうか。
今月号では、成人式の様子を紹介するとともに、
新成人の心の内をのぞいてみました。





3

3出席者全員で記念撮影。やがてこれが思い出の一枚となる／4誓いのことばを述べる戸村侑司さん／5大楽村長から成人証書と記念品を受ける遠藤一樹さん（写真右）と前田早月さん（写真左）



5



4

48人が大人の仲間入り

第六十五回鮫川村成人式は一月十三日、村公民館で行われ、新成人四十八人（男性二十三人、女性二十五人）が大人の仲間入りをしました。

式では、新成人を代表して遠藤一樹さん（渡瀬字木之根）に成人証書、前田早月さん（赤坂東野字前田）に記念品が大楽村長から手渡されました。

大楽村長の式辞、前田村議会議長の祝辞に続き、戸村侑司さん（富田字鰍木田）が誓いのことばを述べ、自覚と責任ある社会人になることを誓いました。また、増谷文誉さん（赤坂西野字荻ノ沢）、田子拓人さん（赤坂西野字酒垂）、宗田亜美さん（赤坂中野字宿ノ入）の三人が感想文を発表。両親への感謝の気持ちや成人としての決意などを話しました。続いて、和太鼓ソロアーティストの大河内正紀さん（赤坂中野字宿ノ入在住）と奥州鮫川太鼓保存会の共演による祝いの太鼓が披露され、新成人を祝福しました。

式終了後には、出席者全員による記念撮影。会場には新成人の晴れやかな笑顔が溢れました。

村のこれから

成人式終了後、新成人４人にご協力いただき、現在の心境を含めたさまざまな思いを語ってもらいました。

20歳は人生の転機

――本日はおめでとうございます。まず、成人を迎えた感想を聞かせてください。

増子　まだ実感はないですが、これから何でも自分でやらなければいけないので、責任感を持って行動したいです。

薄井　まだ学生ということもあって、あまり変わらないです。就職したら少し変わるのかなと思います。

遠藤　仕事をしていると、自分の両親くらいの年齢の人とも接するので、そんなときは大人になったなと感じます。

大竹　二十歳という年齢は、人生の転機だと思うんです。これから大人としていろいろ責任も出てくるので、身が引き締まる思いです。

結婚相手は外見じゃない

――二十歳の皆さんは、結婚についてどのように考えていますか。まず、いくつくらいに結婚したいですか。

薄井　三十歳までには結婚したいです。結婚がどういうものなのかイメージできないので、まだ結婚しなくていいかな。

増子　結婚するとしたら、自分の仕事がある程度落ち着いてからですね。両親のような夫婦が理想です。何年経ってもすごく仲良しで、何をするにも二人一緒なんです。

遠藤　二十代後半くらいに結婚できればいいですね。

大竹　二十七歳くらいかな。専門学校を卒業して二十一歳。それから数年間修業をしたあと、業界トップの所に就職して、年収が安定してからですね。

大竹さん以外　そこまで人生設計立てているのがすごい。（笑い）

――皆さん二十代後半を考えているようですね。では、結婚相手に望むことは何ですか。

大竹　僕の夢を応援してくれる人。お互いの夢に向かって、励まし合える関係が理想です。

遠藤　趣味を共有できる人がいいですね。

薄井　私の事を大切に思ってくれていたらいいです。そうでないと、無理だと思います。

増子　自分の夢を持っている人がいいかな。相手の夢を応援したいし、私の夢も応援してほしいなと思います。

薄井　いいよね、夢持っている人。見た目じゃないよね。

地元の人の温かさ

――現在の鮫川村をどう思いますか。

薄井　仙台から帰ってくると、空ばかり見てしまいます。鮫川村を離れて、空がすごくきれいなことに気付きました。

Asami Mashiko



増子麻美さん
赤坂西野字前塩倉

Ryo Otake



大竹 涼さん
青生野字江堀

新成人の本音トーク―ハタチのリアル―

新成人に聞きたい。自分自身、そして鮫川

Miku Usui



薄井未来さん
赤坂中野字宿ノ入

Kazuki Endo



遠藤一樹さん
渡瀬字木之根

増子　すごく星がきれいだよね。

遠藤　自然がきれいなところはいいと思います。ただ、僕がまだ若いということもありますが、遊ぶ所がないなと感じます。便利か不便かと聞かれたら、不便だと思います。

大竹　変わらない良さがあると思います。いつ帰ってきても、ほっとするんです。

増子　帰ってきたときに、地元の友達と遊ぶと楽しいです。そんなとき、やっぱり地元の人は温かくていいなと思います。

――将来、どのような村になってほしいですか。

遠藤　街路灯がほしいです。中学、高校のとき、陸上部に入っていたのでよく夜走っていましたが、暗くて大変でした。

大竹　緑をそのまま保ってほしいです。僕は、そんなに変わる必要もないと思います。

増子　実際に村に住んでいたときは、不便だと感じていましたが、村外に住むようになってから「今のままがいいな」と思うようになりました。

薄井　（少し考えて）…すぐに要望などが思い付かないということは、変わらなくてもいいのかなと思います。

それぞれの夢に向かって

――最後に、将来の夢や目標を教えてください。

増子　私はスポーツが好きなので、将来は柔道整復師としてスポーツに関わっていきたいです。そのために、勉強を頑張りたいと思います。あと、一人暮らしをしていて、勉強が忙しくなるとバイトもできなくなってしまうので、金銭面もしっかり管理できるようになりたいですね。

遠藤　趣味のダーツを上達させたいです。後々は、プロ試験に挑戦したいと思っています。会社の先輩から、「結婚したり子どもができたりすると、自分の時間がない」という話を聞きました。独身のうちに、いろいろなことに挑戦したいと思います。

薄井　三月に卒業するので、まずは、きちんと就職先を決めたいです。そして、患者さんに明るく接することができる医療事務を目指します。あとは、お金を貯めて家族を旅行に連れて行きたいです。みんなで出かけられる機会が少ないので。

大竹　広い視野で、世界に挑戦していきたいです。今年、アメリカで開催されるトリミング大会にも出場します。夢はグルマー（トリマー）の世界ランキングに入ることです。そのために、卒業後は世界的に有名なグルマーのもとで修業をしたいと思っています。

――それぞれの夢や目標に向かって頑張ってください。本日はありがとうございました。

INTERVIEW

夢を追いかける二十歳

未来を担う20歳の素顔に迫ります。

相手の気持ちが分かる言語聴覚士になりたい

成人式を迎え、晴れて大人の仲間入りをした芳賀英里さん。

「学生で実家に住んでいるということもあって、普段の生活の中では、あまり実感がありません。でも、選挙のときに入場券が届いたりすると、大人になったんだなと感じます」

「夢は言語聴覚士になること」と話す。白河旭高校を卒業後、郡山にある医療系専門学校に進学。言語聴覚士の資格を取るために、勉強に励んでいる。

「言語聴覚士」とは、言語障害や聴覚障害、ことばの発達の遅れ、声や発音の障害などに対する訓練や援助を行う職業。

「中学三年生のとき、読書が好きでいろいろな職業を紹介する本を読んでいたとき、この仕事があることを知りました。もともと医療に興味があり話すことも好きだったので、目指そうと思いました」

今年四月からは三年生となり、実習と国家試験に向けての勉強の両立で、さらに多忙になる英里さん。

「近い目標としては、やはり国家試験に合格することですね。そのために、勉強を頑張るしかないと思っています」と意気込みを語る。

卒業後は県内の病院に就職したいという希望があり、脳梗塞などの後遺症（失語症）や高齢



芳賀英里さん
はが・えり■渡瀬字西野沢



者の飲み込みの障害、高次脳機能障害などのリハビリをサポートしていきたいという。

「相手の気持ちが分かるような人になりたいです。言語聴覚士はコミュニケーションを扱う仕事なので、その人がどのようなことを思っているのかを考えられるようになれればと思います」



鈴木康史さん
すずき・やすし■赤坂西野字中



真剣な表情で成人式に臨む康史さん

鈴木康史さんは修明高校を卒業後、三交代勤務の製造業の会社に就職。高校まで野球をやっていたこともあり体力に自信があったので、これを生かしたいと決めた。現在は、実家から西郷村の職場まで通勤している。

実際に、仕事を始めて学生と社会人の違いを感じたと言う康史さん。

周りから信頼され、仕事を任せられる人に

「まず、責任の違いです。例えば、自分が何か悪いことをしたとすると、自分自身だけでなく会社のイメージや売り上げなどにも影響してしまいます。あとは、いろいろな年代の人の話が聞けることは、とても勉強になります」

社会人、二年目。まだまだ学ぶことが多く、それに伴い目標もあるという康史さん。「周りの人から信頼され、仕事を任せられるような人になりたい」と力強く話してくれた。

「今は、先輩に頼っている部分が大きいので、少しずつでも自分一人でできるようになりたいです。特に機械トラブルなどの異常事態の対処が苦手なので、それを克服したいと思います」

また、成人という大きな節目を迎えた康史さんに将来の夢を聞いた。

「とにかく、今は仕事を頑張りたいというのが一番です。できれば会社の近くに住みたいという思いもありますが、鮫川村を離れることになっても村を盛り上げていけるように何らかの形で携わっていきたいと思っています」

「子どもが好き」と話す康史さん。「教えることはできないけど、村の子どもたちと一緒に野球ができたらいいな」と話してくれた。



1年後に控えた国家試験に向けて、勉強に励む英里さん



所得申告相談

2月18日(月)から始まります

■問い合わせ
村総務課税務係☎49-3111

村では、2月18日(月)から3月15日(金)まで、役場2階「正庁」で所得の申告相談を行います。

この申告相談は、平成24年分(1月～12月)の所得を申告していただくもので、平成25年度の村県民税や国民健康保険税の課税の基礎となります。

該当する方は指定された日(左表を参照)に申告してください。

■申告が必要な方

平成25年1月1日現在、村内に住所があり、次のいずれかに該当する方

①農業や営業などの事業を営んだり、地代、家賃、配当、譲渡などの所得がある方

②給与所得のほかに事業や配当、不動産などの所得がある方

③給与所得者のうち
・2カ所以上の事業所などから給与の支払いを受けた方
・平成24年中に退職した方や年末調整を受けていない方
・給与のほかに年金や恩給、報酬などの所得がある方

④国民健康保険に加入している方

⑤生命保険金などを受け取った方(満期や解約を含む)

⑥所得税から住宅ローン控除額を引ききれなかった方(平成11年から平成18年末まで、または平成21年から平成25年末までに入居、入居予定の方)

■持参するもの

申告の際には、次のものが必要になります。書類不足などで申請できない場合もありますので、書類の確認をお願いします。

①印鑑・筆記用具および収入支出が確認できる預金通帳

②不動産所得、山林所得がある方は売買契約書または明細書

③生命保険料、建物共済などの払込証明書

④国民年金加入者は、社会保険料(国民年金保険料)控除証明書

⑤医療費控除を受けようとする方は医療機関の領収書など(平成24年中に支払ったもの)

⑥障害者控除を受けようとする方は身体障害者手帳など

⑦口座振替を利用する方は金融機関・口座番号がわかるものおよびお届印

また、申告する所得の種類によっては、次の書類も持参してください。

▼農業所得
・収入支出を記帳してあるものおよび領収書など
・肉用牛売却所得の免税措置を受ける方は売却証明書

▼給与所得
・源泉徴収票(原本)または事業主の発行する給与・賃金の支払証明書など

▼営業・その他の事業所得
・営庶業等所得調査表
・収入支出を記帳してあるものおよび領収書など

なお、税務署から申告書を送付された方は申告当日に持参してください(未記入のままで結構です)。

■相談時間の短縮にご協力を

相談会場には多くの方が訪れるため、待ち時間が長くなってしまいます。スムーズな申告にご協力ください。

①事業所得や農業所得を申告される方で、領収書などが未整理のため収支内訳書の作成に時間がかかる場合があります。あらかじめ、経費ごとの整理・集計をお願いします。

②医療費控除を受ける方で、領収書が整理されていないため時間がかかる場合があります。医療機関・個人ごとに整理し集計してください。

■所得申告相談日程

会場：役場２階「正庁」／時間：午前９時～午前11時30分、午後１時～午後４時30分

月	日	曜日	行政区	対象地域（組名）
2月	18	月	青生野	江堀、青生野、西谷地、世々麦、姿平
	19	火	青生野	丸谷地一・二、大平、大犬平一
	20	水	赤坂西野	切払上・東、名下一・二、茅、茅南、蕨平、本坂、滝、仁田、草牛
	21	木	赤坂西野	酒垂新・旧、石神、火打石、岫長、虹ヶ沢、荻ノ沢
	22	金	赤坂西野	滑石、上、中、西、浅屋敷、前折戸、塩倉一・二
	23	土		申告相談は行いません
	24	日	予備日	指定日に申告できなかった方
	25	月	富田	前沼、彦次郎一・二、日和田、反田一・二
	26	火	富田	鍬木田一・二・三、二反田一・二、中沢一・二・三
	27	水	西山	戸倉、赤柴、菅田、菅ノ目、水口一・二、大沢
	28	木	西山	落合、大平、追木、折戸、後折戸、余所内
3月	1	金	西山	西野内、宝木、押野、岩野草上・下、大久保
	2	土		申告相談は行いません
	3	日		申告相談は行いません
	4	月	渡瀬	江竜田元・上・新、大戸中、下
	5	火	渡瀬	中山、木之根一・二・三、中野町、上耕地、越虫
	6	水	渡瀬	福原一・二、田苗下、田尻一・二、関口一・二・三、座場見
	7	木	赤坂東野・石井草	広畑一・二・三・四・五、滝ノ下、蕨ノ草、芦ノ草、木戸沢、大竹下・上、前田
	8	金	赤坂東野・石井草	戸草下・上、新立、葉貫、唐露、大石草、遠ヶ竜前・後、大根屋敷
	9	土		申告相談は行いません
	10	日	予備日	指定日に申告できなかった方
	11	月	赤坂東野・石井草	中内、大房、楢久保、官代下・上、石井草、内ヶ竜上・下
	12	火	赤坂中野	新宿一・二・三・四・五・六・七、宿ノ入、道少田一・二・三・四・五、中野団地
	13	水	赤坂中野	大塩一・二・三、官沢一・二、馬場、鬼越
	14	木	赤坂中野	真坂東・下・上、取上、薄ヶ久保、前田一・二
	15	金	予備日	指定日に申告できなかった方

※日曜日の予備日（２月24日、３月10日）は混雑が予想されますので、できるだけ指定日においでください。なお、指定日以外に来られる場合は、指定日の方を優先しますのであらかじめご了承ください。

焼却実証事業において環境省と確認事項を取り交わしています

■問い合わせ　村地域整備課環境係☎49-3196

東京電力株式会社福島第一原子力発電所の事故発生以降、村内には放射性物質により汚染された農林業系副産物などが大量に保管されています。これらの長期保管による状態の悪化も懸念されていることから、早急に処理を行わなければならない状況にあります。

このような問題を解決するため、環境省では村内に仮設焼却施設を設置し、焼却処理における放射性セシウムの挙動などの安全性に関するデータの蓄積を図りながら焼却実証事業を実施します。

本事業を円滑に実施するに当たり、環境省と鮫川村が互いに協力するとともに、双方の役割を明確にするため次のような確認事項を取り交わしています。

■確認事項

①鮫川村に仮設焼却炉を設置し、村内に保管されている放射性物質を含む農林業系副産物などの焼却を行う。

②仮設焼却施設の安全な運営管理、環境対策に努める。

③環境省が仮設焼却施設を設置および運営するに当たり、環境省と村が協力し、村内住民への説明、情報提供を行う。

④焼却実証終了後は、仮設焼却施設の撤去などを行う。

⑤セメント固型化をした上で一時保管した焼却灰は、国が確保する中間貯蔵施設または管理型処分場が確保され次第、速やかに搬出するものとし、一時保管場所を最終処分場としない。

炭出しや「縄もじり」を体験
東京農業大学里山景観保全活動

東京農業大学の第78回里山景観保全活動は、12月22日、23日の２日間、村内で行われました。

今回の活動には、学生20人が参加。初日は、葉貫地内で小林輝男さん（葉貫）に指導を受けながら、炭焼きの炭出し作業や「縄もじり」を体験しました。夜には、青戸代吉さん（彦次郎）の講話を聞き、里山の暮らしや年中行事について理解を深めました。２日目は、鈴木寛重さん（馬場）の指導で大豆の脱粒や選別作業を学んだあと、臼と杵を使った餅つきを体験し、つきたての餅を味わいました。





上…「縄もじり」を体験する学生
左…棒を使った大豆の脱粒作業

子どもたちが伝統行事を体験
こどもセンターで小正月の「だんごさし」



「だんごさし」を体験する子どもたち

小正月の伝統行事「だんごさし」は１月11日、こどもセンターで行われました。

子どもたちは西野長寿会の皆さんの手ほどきで臼と杵を使って餅つきをし、小さく切り分けられた餅をミズキに飾り付け、小正月の伝統行事を体験しました。

親子で楽しんだスキー教室
チャレンジスクール第７回講座



インストラクターから指導を受ける参加者

村公民館事業のチャレンジスクール第７回講座「スキー教室」は１月27日、猪苗代町の猪苗代スキー場で開かれ、親子23人が参加しました。

教室では、インストラクターに指導を受けながら、スキーの基礎を学びました。

村政TOPICS

消防

「文化財を守れ！」火災防御訓練を実施

文化財防火デー火災防御訓練は一月二十日、西山字戸倉地内「阿夫利神社」付近で行われました。

棚倉消防署鮫川分署員や村消防団員など関係者約五十人が参加。訓練では、防災無線運用や放水訓練が繰り広げられ、消防団員らは万が一に備えて真剣な表情で訓練に励んでいました。



放水訓練を行う消防団員

人権

人権擁護委員に水野きよ子さん（再任）

平成二十五年一月一日付けで、人権擁護委員に水野きよ子さん（赤坂中野字宿ノ入）が法務大臣から再任されました。任期は、平成二十七年十二月三十一日までの三年間です。

ほっとニュース

無火災への誓い新たに
平成25年村消防団出初式

平成25年鮫川村消防団出初式は１月4日、村公民館で行われ、今年１年の無火災を祈願しました。

式に先立ち、消防車両による村内分列行進で火災予防を呼びかけたあと、通常点検と水勢披露が行われました。式には、幹部団員や来賓など約150人が出席。無火災祈願の黙とう、村長あいさつ、団長式辞に続き、無火災分団と優良団員に表彰状が贈られました。

表彰を受けた分団および団員は次のとおりです。

▶**無火災分団表彰**（　）内は分団長名…第１分団（古舘勝人、宗田貴）第２分団（矢吹俊幸、石井明光）第３分団（芳賀正信、吉保広幸、山形美好）▶**優良団員表彰**…[第１分団]円井一三（副班長）姪田竜次（副班長）中川西幸雄（副班長）[第２分団]目黒信一（副班長）薄葉正勝（副班長）芳賀省悟（副班長）[第３分団]藤田博文（団員）生田目一宏（団員）





上…通常点検を受ける幹部団員
右…無火災分団と優良団員の表彰が行われた出初式

１年の無病息災を願う
村内で小正月伝統行事

小正月の伝統行事が１月に村内２カ所で行われ、地域の子どもたちや住民が１年の無病息災を願いました。

真坂地区では、真坂三矢会（矢吹浩美会長）主催の「とり小屋」が、１月13日に真坂農村公園で行われました。笹竹などで作った小屋に正月飾りや古いお札などを納めて供養しました。とん汁なども振る舞われ、地域住民が親睦を深めました。

落合地区では１月20日に「どんと焼き」を開催。子どもたちに伝統行事を知ってもらおうと催され、大勢の住民が参加しました。また、子どもたちも役員として参加。正月飾りなどを供養したあと、甘酒やすいとんを食べながら伝統行事を楽しみました。





上…真坂地区の「とり小屋」
左…落合地区の「どんと焼き」

村政TOPICS

水野さんのほか、齋藤實さん（赤坂西野字酒垂）と津田彰夫さん（渡瀬字木之根）が人権擁護委員に委嘱されています。



人権擁護委員に再任された水野さん

育成
子どもたちの作品集「こころのうた」作成

鮫川村青少年健全育成推進協議会では、「第十七回少年主張大会」「第十六回こども俳句・短歌・詩のコンクール」「第五回家族への短い手紙」の作品集「こころのうた」を作りました。

子どもたちの「こころ」が集まってできた作品集です。公共施設などに置いてありますので、ぜひご覧ください。



作成された「こころのうた」

村民【随想】リレー ―175

前田守栄さん

「書く」こと



まえだ・もりよし●昭和42年7月生まれ。赤坂中野字道少田在住。東西しらかわ農業協同組合勤務。趣味は読書。「日々努力」を心掛けている。

先日、中学生の息子が書き初めの宿題をしていたので、私も何十年かぶりに筆を持ってみました。しかし、息子にお手本を見せるつもりが、自分の字の下手さに拍車が掛かっていたことにがっかりしました。そして、「書＝文字」を書く機会が少なくなっていることを再認識しました。

仕事や日常生活において、携帯電話やパソコンでの電子メールのやり取りがほとんどで、今では欠かせないコミュニケーションツールになっています。また、絵文字や漢字変換機能など、その便利さに甘えているため漢字を書く力が衰えているように感じます。そして、漢字が読めても書けないということもしばしば（それだけではないかもしれませんが）。

そこで、今年の目標を決めました。「四十の手習い（？）」ではありませんが、人生一生勉強と思い「書く」ことを意識し、息子と一緒に漢字検定試験に挑戦しようと思います。

息子より上の級から。

■

次は、湯座和志さん（赤坂中野字真坂）にバトンタッチ！

俳句

よろこびの中ぐらいなり初暦　中井　恒峯
儘ならぬ手抜除染よ冬深む　松本　精一
悴みて切干大根作る妻　北條素人坂
改まり夫に熱燗年酒つぐ　前田　縫子
学生の早口会話冬の駅　山本　恵子
白鷺が愛を求めて下りて来る　小松ハル工
寒の空一直線の飛行雲　斎須　信子
紅白の白の勝因ヨイトマケ　土　竜　庵
初場所や杞留都国旗を胸に秘め　黒田　寿香
娘ら帰りふたり七草粥すする　鈴木　米子
一刷毛の雪もて化粧う三日朝　山本五十鈴

短歌

千粒で二か所の斑点に二等米カメムシ被害の検査は厳し　鈴木イミ子
口先で政治家となる人多く国の進路の危うく無きや　前田　初
線香の煙の行方目に追えば木の間に咲ける百合の花目指す　佐藤　春枝
元旦を澄み渡りゆく山の端に声高に鳴く雉子の一羽は　須藤　幸子
春という覚えはなくも引き締まる寒さに逢えば心新たなり　水野　珠子
何事も初めと思う心地こそ仕事の成就に繋がるや今　関根　瑞恵

さめがわを彩る集い 8

地域の人と一緒に楽しい放課後を



放課後子ども教室

村教育委員会教育課主催／参加児童54名

子どもたちが健やかに成長できる環境づくりを目的とした「放課後子ども教室」。未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校や家庭、地域住民などがそれぞれの役割と責任を自覚しながら、地域全体で教育に取り組むことが求められています。

教室は、地域の子どもたちを対象に、放課後や学校の休みなどに勉強やスポーツ、文化活動を行っています。その中で、地域住民にボランティアとして参加してもらい、子どもたちと地域住民の交流を深め、地域教育力の向上ばかりではなく、地域住民の「生きがい」づくりにつながるような活動を展開しています。グリーンカーテン作りや少林寺、サッカー教室など、子どもたちがのびのびと楽しめる環境づくりを広めていきます。

Book

図書の缶詰
図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館（村歴史民俗資料館内）
☎49-3106

ラストサムライ　山本覚馬
（鈴木由紀子著、ＮＨＫ出版）



会津藩士の山本覚馬は新島八重の17歳年の離れた兄。いち早く洋式銃の導入を唱えるなど広い見識を持ち、この兄なくして八重はいなかったと言われる。失明同然となりながらも会津魂を胸に幕末維新に活躍したラストサムライである。

金子みすゞ詩の絵本
わたしと小鳥とすずと
（金子みすゞ著、金の星社）



「こだまでしょうか、いいえ、だれでも」東日本大震災後、話題となった金子みすゞの詩の世界が親しみやすいキャラクターで楽しめるシリーズ５冊。あたたかくて優しい風景が広がる。

第３土曜日は 家族一緒に読書の日

穏やかな小春日和を迎えおり毛糸編みする小縁に出でて　満井　清乃
正月も休めず葉たばこ伸ししたる昔を思う嫁の勤めに　坂本　伊紀
なるが儘こころの儘に生き続け米寿の今日も恙なきかな　一平子
初日受け迷いすっきり前向きに家族と共に心機一転　石井　幸子
年の明け輝く初日に膨らみぬ希望の願い迷はず託す　須藤シツエ
師走選一億二千どこへ行く津波に乗れば船をも山へ　松本　一郎
二重橋渡る参賀の人の波陛下のお言葉全身に戴く　前田喜三子
九十歳すぎたる姉は病む身にて八十路の吾を気遣いくれる　藤田千代子
元気でね手をさしのべて握手する曾の温もり今も残れる　関根ハナヨ
お飾りの済ませ今年の篠明けと初日を迎え希望の願えを　関根　富久
晴れ渡る新年の空輝きて長寿の願い吸い取る如くに　鷲野谷　満
初競りの大間のまぐろより鰯ふところの良く吾をも癒す　板橋　源良
輝かに登る初日に手を合わす帰省せし娘と二人並びて　関根キヌ子
久方に熱鍋囲みし芋煮会笑顔の絆健康の喜び　矢吹　一二
寿ぎの門松凛と天を指し輝く初陽に復興願う　北條　平

むらの
名人・達人
Vol. 7



昔、葉たばこ作りで使っていたという納屋には、凍み餅がずらりと吊るされています



つき上がった餅を手際よく成形していきます

凍み餅作り名人

関根のぶ子さん

せきね・のぶこ／西山字余所内在住／61歳

昔の人の知恵に感心
伝統ある郷土食を絶やしたくない

冬の寒さが厳しい時期になると、昔はほとんどの家庭で作られていたという凍み餅。現在では、「手まめ館」で購入することができます。その生産者の一人が関根のぶ子さんです。

「私が子どものころは、母親と一緒に凍み餅を吊るしたものです。食べるときは、水で戻さずカリカリとかじっていたのを覚えています」

凍み餅の作り方や分量は人によって多少異なりますが、共通して気を付けなければならない点が二つあるといいます。一つ目は、あく抜きした「ゴボッ葉」とうるち粉を混ぜ合わせるときやもち米と一緒につくときによく混ぜ合わせること。よく混ざっていないと、水で戻したときに餅が崩れる原因となります。二つ目は、餅を凍らせるときに気温が低く風がない日を選ぶこと。風に当たるとヒビが入り、気温が低くないと中まで凍らず戻りが悪くなってしまいます。

「凍み餅を作っていると、昔の人の知恵に感心させられます。山に生えている『ゴボッ葉』が食べられるなんて、よく考えましたよね。伝統ある郷土食を絶やしたくないです」と力強く話してくれました。

若者の広場　No.98

Young Plaza

芳賀 鉄央さん

あるものを有効活用して…



はが・てつおう
平成４年１月22日生まれ　21歳
Ｂ型　みずがめ座
趣味はＤＶＤ鑑賞
赤坂東野字雁露在住

■今、夢中になっていることは何ですか？

休みの日は、ＤＶＤ鑑賞をして過ごすことが多いです。ほぼ毎週ですね。洋画から邦画まで、いろいろなジャンルのものを見ます。

■これから新たにやってみたいことや目標はありますか？

新しい車を買うために、今から少しずつ貯金をしようと思います。

■村に住んでいて感じることや現在の村について思うことはありますか？

鮫川村は土地がいっぱいあるので、これを有効活用して何かできないのかなと思います。あとは、同級生など若い人が村を出てしまうので寂しいと感じます。

■これからの鮫川村に望むことはありますか？

村内の道路は、交通量が少ないので運転しやすいですが、道幅が狭かったり、舗装がデコボコだったりする所もあるので直してほしいです。雪が降っても安心して運転できる道路になればと思います。

■

次は矢吹雄太さん（赤坂中野字宿ノ入在住）の予定です。

学校だより

（100）

青生野小学校編

一画一画集中したよ！「書き初め大会」

一月十日（木）、全校生での「書き初め大会」を実施しました。

開会式のあと、各教室やオープンスペースでそれぞれの課題を清書。書写に取り組むときの張り詰めた緊張感は何とも言えませんね。子どもたちも冬休みのときより上手に書くことができていました。

最後は、お互いの作品を見合っての感想発表。「一年生の硬筆の字がしっかりしていて、びっくりしました」「六年生の字は、とても力強くかっこいいです」など、よいところを学び合いました。



書き初め大会

ティファニー先生とみんなでＣｏｏｋｉｎｇ

十二月十三日（木）、外国語活動の中でＡＬＴ（語学指導助手）のティファニー先生と英語を使いながら、楽しくＣｏｏｋｉｎｇをしました。

クリスマスが近かったため、星形クッキーを重ねてツリーを作ったり、クッキーでお菓子ハウスを作ったり、子どもたちは大興奮。満足いく出来栄えに、ティファニー先生も子どもたちも笑顔のひとときでした。





上：Cooking 教室／右：クッキーで作ったお菓子ハウス

（文・写真／青生野小学校）

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

保健・福祉

献血にご協力ください

実施日　3月4日(月)
場所　役場前駐車場
時間　午前9時30分～午後1時、午後2時30分～午後5時

問　村住民福祉課健康係☎49-3112

■献血対象者など

献血区分	200ミリリットル	400ミリリットル
体重	男性 45キログラム以上 女性 40キログラム以上	男女とも 50キログラム以上
年齢	男女とも 16歳～69歳	男性17歳～69歳 女性18歳～69歳
献血の間隔	男女とも 4週間後	男性12週間後 女性16週間後

※65歳以上の方は、60～64歳の間に献血経験がある方に限ります
※血液が不足していますので、400ミリリットルの献血にご協力ください

「こころの健康づくり研修会」を開催します

日時・内容　▼2月5日(火)午後1時30分～・ワークショップ「自殺と私の仕事」／午後3時15分～・講演「自殺予防基礎知識」▼2月27日(水)午後1時30分～・講話「心と身体を開くタッチケア」／午後2時30分～・講話「心を通わせる会話」▼3月5日(火)午後3時～・ワークショップ「自殺と私の仕事」
場所　村保健センター
対象　講演・講話…どなたでも参加できます。／ワークショップ…保健医療福祉現場で働いている専門職の方
申し込み　事前に役場住民福祉課福祉係へ電話またはファックスで申し込んでください。

問　村住民福祉課福祉係☎49-3113／FAX49-2651

案内

2月25日から119番の受付先が変わります

平成25年2月25日から「消防指令センター」が仮運用を開始します。それに伴い、次の点が変わります。

①各消防署で受け付けている119番通報が、「消防指令センター」で受け付けとなります。

②「統合型位置情報通知装置」により通報した場所を瞬時に特定し、最も近い消防車や救急車が出動します。

通報から到着までの時間が短縮されることにより、迅速な消防・救急・救助活動が行われ、皆さまの安心・安全を守ることができます。ご理解とご協力をお願いいたします。

問　白河地方広域市町村圏消防本部総務課通信指令準備室☎0248-22-2157

8日は歯の日

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

2月の担当は――
修明高校鮫川校保健委員会
柿沼　美香さん(3年)



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎ 0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

住民福祉課	
健康係	49-3112
住民係・福祉係	49-3113
農林課	49-3114
企画調整課	49-3115
地域整備課	
建設係	49-3116
環境係	49-3196
農業委員会	49-3197
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館（歴史民俗資料館内）	49-3106
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手・まめ・館	49-2556
山王の里	48-2848

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月の納税
後期高齢者医療保険料：第7期
※納期限：2月28日(木)

information

募集

村営住宅広畑団地の入居者を募集します

赤坂東野字広畑地内（村民保養施設「さぎり荘」付近）に建設中の公営住宅の入居者を募集します。

募集戸数　4戸

構造　木造平屋建て、1戸当たり57・48㎡（物置含む）、DK7・5帖、和室6帖1室、洋室6帖1室、浴室、トイレ、物置

入居資格　①鮫川村に住所を設定する意思がある方／②政令月収15万8千円を超えない方／③住宅に困窮している方／④地方税を滞納していない方／⑤住民の居住の平穏を著しく害しない方／⑥過去に住宅の明け渡し請求を受けていない方

入居条件　①家賃・地方税・公共料金などを滞納しないこと／②動物の飼育は認めません／③保証人が必要です（村に在住し、保証能力のある方）／④鮫川村および赤坂東野区民としての責務を果たせる方

入居者の費用負担　▼家賃…1万7200円以上（入居者の政令月収を基準に算定）▼敷金…家賃2カ月分▼その他…電気・ガス・水道の使用料、集落排水処理施設使用料、テレビ共同受信施設組合の年会費など

申し込み　役場地域整備課にある申込書に必要事項を記入し、必要書類を添えて2月14日（木）までに申し込んでください。

入居者の選考　入居資格を満たした方が多数の場合は、住宅困窮度の高い方を優先し、同程度の場合は抽選により決定します。

入居可能時期　平成25年3月下旬

問　村地域整備課建設係☎49-3116

文化活動に対する県の助成制度

対象事業　▼平成25年4月1日から7月31日までに行う次の事業…①文化活動の成果発表／②国内外の発表会などへの参加／③文化財の保護・保存▼東日本大震災または原子力発電所事故で被災した県民および文化団体が主体となる平成25年4月1日から7月31日までに行う芸術文化および伝統芸能に関する事業▼平成25年4月1日から平成26年3月31日までに行う次の事業…①文化振興による地域活性化／②伝統文化の保存・継承・発展／③広域的または国際的な文化交流／④歴史的建造物などの保全・改修

対象者　県内に住所または活動の本拠がある個人または文化団体など

助成金額　助成対象経費の3分の1以内、2分の1以内、5分の4以内のいずれかの額

申し込み　村教育委員会にある申請書に必要事項を記入し、必要書類を添えて2月28日（木）までに提出してください。

問　村教育委員会教育課☎49-3151

◆◆◆いきいき健康通信◆◆◆

大切ないのちを自殺から守る

■自殺者の現状

国内の自殺者は、平成9年以来、15年ぶりに3万人をきりました。しかし、交通事故死の1万人と比べるとかなり高い値になります。

県内の自殺死亡数は平成23年度が502人で、ここ2年間は減少が見られます。震災以降はさらに減少傾向にありますが、全国順位ではワースト10位です。現在、自殺者が減少傾向にある理由の一つとして、復興需要による経済の回復が考えられます。しかし、過去の阪神淡路大震災後においても2年間は自殺者が減少し、その後増加したことを踏まえ、対策が必要になります。

■自殺の原因・動機（警察庁自殺統計より）

自殺の原因、動機については、健康問題が最も高く、次いで経済生活問題、家庭問題となっています。健康問題に含まれる「うつ病」と回答した人が一番多く6,513人、次に身体の病気が4,659人となっています。経済生活問題に含まれる「生活苦」が1,525人と続いています。

■大切な人のいのちを守るためにできること

身近にいて話をよく聞き、一緒に考えられる人になりましょう。悩んでいる人の孤立を防ぎ、安心感を与えられる人の存在が必要です。

気付き…生活の変化は悩みの大きな要因となります。
眠れない・食欲がない・口数が少なくなったなど、様子の変化に気付いて、声をかけましょう。

声かけ…悩んでいることに気付いたら、勇気を出して声をかけてみませんか。
「何か悩んでいる？　よかったら話して」
「どうしたの？　なんか辛そうだけど」　など

傾聴…本人の気持ちを尊重し、耳を傾けましょう。
責めたり、安易に励ましたり、相手の考えを否定することは避けましょう。

つなぎ…早めに専門医に相談するように促しましょう。

見守り…温かく寄り添いながら、見守りましょう。

ひとりで悩まず、こころの悩みや病気でお困りの方は、相談機関や専門医の紹介もできますので役場住民福祉課（☎49-3113）へご連絡ください。

（文：村住民福祉課　鈴木芳子保健師）

February
2

㊡＝休日当番医　[歴]＝歴史民俗資料館　[公]＝公民館　[図]＝図書館　[保]＝保健センター
[ト]＝農業者トレーニングセンター　[ほ]＝ほっとはうす・さめがわ　[こ]＝こどもセンター

火	水	木	金	土
			2/1 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●子育て談議… 18:00～／山王の里	2
5 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	6 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●手・まめ・館休館日 ●やまゆり保育室[こ] ●おはなしの森… 15:30～／鮫川小	7 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	8 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	9
12 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	13 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●やまぶきの会… 10:00～15:00[保] ●やまゆり乳児室[こ] ●おはなしの森… 15:30～／鮫川小	14 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	15 ●一日入園[こ] ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	16
19 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面） ●1歳6カ月児健診・3歳児健診…13:15～[保]	20 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●心配ごと相談… 13:00～15:00[公] ●おはなしの森… 15:30～／鮫川小	21 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	22	23
26 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	27 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●おはなしの森… 15:30～／鮫川小	28 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●後期高齢者医療保険料納期限	3/1 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保] ●やまゆり保育室[こ]	2
5 ◆送迎バス運行日 （西野・西山・富田方面）	6 ◆送迎バス運行日 （中野・東野方面） ●手・まめ・館休館日 ●やまゆり乳児室[こ] ●やまぶきの会… 10:00～15:00[保] ●おはなしの森… 15:30～／鮫川小	7 ◆送迎バス運行日 （渡瀬・青生野方面） ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	8 ●筋力づくり教室… 10:00～15:00[保]	9

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

お誕生

12月届け出分・敬称略



須藤（すとう）　南（みなみ）・女
平24.12.7生
住所…岩野草
保護者…勝広・泉



生田目（なまため）　陽向（ひなた）・男
平24.12.12生
住所…東前田
保護者…義人・麻美

おくやみ

12月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
官代	田子てるみ	12. 2	59歳
西野内	松本アキ子	12. 2	77歳
伏木田	清水キクイ	12. 7	91歳
滑石	阿久津ヒサ	12.19	87歳
羽双	星　ウメ子	12.20	74歳

人の動き

1/1現在・（　）は前月比

人口	3,985人	（－ 3）
女	1,989人	（± 0）
男	1,996人	（－ 3）
世帯	1,157戸	（－ 1）

寄付寄贈

12月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…田子一吉(官代)　黒崎博(島根県)　清水一男(伏木田)　阿久津榮二(滑石)　星弘美(羽双)　大竹眼科(石川町)

■**ひだまり荘に[タオル]**…穂積チカ(広畑)

※お誕生・おくやみ・寄付欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編／集／後／記

■今月号の特集では、数名の新成人に取材させていただきました。皆さん、自分の目標やそれを達成するために努力しなければいけないことをしっかりと持ち、感心するばかりでした。そして、自分は20歳のとき、どうだったかなと自問自答。■背表紙のコーナーを一部変更しました。今後は、挙式されたご夫婦と金婚を迎えたご夫婦を紹介していきたいと思います。これからもさまざまな企画を通して、村民の皆さんが多く登場する広報紙を目指していきます。（前田）

暮らしのカレンダー

日	月
3 ㊡和田医院(棚倉町) ☎33-2012 *第1日曜日は環境美化の日*	**4** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●放課後子ども教室…15:00～／飯川小
10 ㊡東舘診療所(矢祭町) ☎46-3165	**11** 建国記念の日 ㊡大木医院(棚倉町) ☎33-2424 ●図書館休館日 ●トレセン休館日
17 ㊡金澤医院(矢祭町) ☎46-2312 ●東白川郡インディアカ大会／塙町	**18** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●3～4カ月児健診・BCG接種・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院 ●放課後子ども教室…15:00～／飯川小
24 ㊡東白川中央医院(棚倉町) ☎33-3263 ●スポ少交流会…9:00～[ト]	**25** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●放課後子ども教室…15:00～／飯川小
3 ㊡おおひら整形外科クリニック(棚倉町) ☎33-9468 *第1日曜日は環境美化の日*	**4** ●図書館休館日 ●トレセン休館日 ●献血

金婚を迎えたご夫婦を紹介



半世紀の歩み Episode_01

緑川勝美さん　千代子さん

西山字押野在住／昭和37年４月結婚

ずっと農業をして生活してきました。作物の世話は欠かせないので家を空けられず、新婚旅行は行きませんでした。当時は珍しいことではなかったと思いますよ。

今は、夫婦２人でトマトや米などを作り、いろいろな野菜を「手まめ館」に出しています。これからも、消費者が安心して食べられる野菜を作っていきたいですね。

孫が９人いて、よく顔を見せに来てくれます。孫たちの成長を楽しみに、健康を一番に考えて夫婦仲良く生活していきたいです。

80歳になったら農業をやめて、温泉旅行などに行きたいと思っています。今まで２人で旅行に行くことがありませんでしたから。　[談]

こちら 村長室

▼南米・アンデス地方の先住民族に伝わる民話「ハチドリのひとしずく」です。▼森が燃えていました。動物たちは、我先にと逃げていきました。でも、クリキンディという名のハチドリだけは行ったり来たり、くちばしで水を一滴ずつ火の上に落としていきました。動物たちはそれを見て「そんなことをしていったい何になるんだ」と笑いました。クリキンディはこう答えました。「私は、私にできることをしているだけ」▼体長十センチにも満たない小さい鳥の一滴では山火事は消せないでしょう。何の効果もない無駄なことだと切り捨てることは簡単かもしれません。でも、何十万何百万という動物たちが「私にできること」をしたら、火の勢いを止めることができたかもしれません。▼燃え盛る森に一滴の水を落とし続けたハチドリのように、職員、そして村民全員が心を一つにして、自分にできる「ひとしずく」を考えた村づくり、村の復興を図りたいと考えています。

大樂勝弘

発行／福島県鏡石町　編集／鏡石町役場企画調整課
〒963-8401 福島県岩瀬郡鏡石町大字成田中野字新宿 39 番地 5
平成 25 年２月１日発行（毎月１日発行）
第 706 号（昭和 27 年９月創刊）